

平成30年度事業計画

急増を続ける訪日外国人観光客は、平成29年末には、2,869万人、その観光消費額は4兆4,161億円（いずれも速報値）と増加の一途にあります。また、平成30年6月には、住宅宿泊事業法が施行され民泊・農泊による地方の観光交流人口の増加が見込まれるなど、国内の観光を取り巻く環境が大きく変化し続け、多様なニーズに応える必要が生じております。

群馬県においても、高崎市に群馬県が建設を進めるコンベンション施設「Gメッセ群馬」が2020年春にオープンするなど、観光交流人口増加に即応した取り組みが急務となっています。

当協会では、昨年1月20日に観光庁へ県域連携DMO候補法人として登録を済ませ、現在、正式な群馬県版地域連携DMO法人として申請を済ませたところではありますが、昨年度から随時、計3名のDMO専門職員を配置し、DMOの手法によるマネジメント等を推進する中、いままでの事業を見直し、会員、地域DMOをはじめ農業、商工業、文化、歴史など地域を支える方々と協働し、滞在型交流商品開発を促進するなど、観光客のニーズに沿った事業展開を行い、県内への送客に努めております。

更に平成29年度は、ググっとぐんま観光宣伝推進協議会事務局を当協会内に配置し、過去4年、10～12月の秋期に開催していたググっとぐんま観光キャンペーンを7～9月の夏期に変更開催したことに合わせ、観光展や物産展、キャラバン等を通じて県・市町村と一体となって誘客に努めました。

平成30年度は、ググっとぐんま観光キャンペーンで地域の連携はもとより、マスコミや旅行者等の民間機関との連携を更に強化するとともに、DMOによる観光地経営では、協会と群馬県の役割を明確にしつつ、既存の団体との連携はもとより、多様な関係者とも協力し、データに裏打ちされた各地域に即した観光資源の磨き上げや核となるリーダーの育成等を行い、継続して自走できる観光地域づくりを進めます。

海外からの誘客についても、平成29年度に配置した台湾プロモーションのための専門人材（1名）を中心に、県及び各観光協会などと連携し、東アジアなどからの誘客を積極的に進めます。

物産振興についても、地域物産振興協会やデパート・量販店などとの連携を深め、地域に埋もれている魅力ある商品や食の発掘・育成・周知に努め、本県の魅力向上に繋がります。

さらに、国際化推進としては、県や地域国際交流協会と連携を深め、ボランティアや留学生との連携を強化し、急増する外国人観光客への支援など、国際交流の促進に努めてまいります。

以上の事業を展開し、魅力のある地域づくりを更に推進します。

I 観光物産振興・推進事業（公益目的事業）

1 観光物産情報発信

（1）観光情報事業

1) 観光情報発信 1, 022千円（29年度 938千円）（県・市町村負担金事業）

平成28年度からググっとぐんま観光宣伝推進協議会のホームページと統合し県内外の多くの方に群馬県内の最新情報をリアルタイムに伝えるため、群馬県や市町村、関係団体等と連携し情報収集を行うとともに、ホームページを通じて観光情報の発信・更新を行う。

2) 観光情報誌制作 5, 111千円（新規）（県・市町村負担金事業）

観光情報誌「ググっとぐんま」の制作を、キャンペーン期間以外のシーズン（秋・冬・春）に群馬県内の最新の観光情報の伝えるため、「秋・冬号」および「春号」の制作・発送を行う。

（2）各種マスメディア活用誘客宣伝事業

1) ラジオ情報宣伝

4, 500千円（29年度 4,500千円）（県・市町村負担金事業）

① エフエム群馬コーナー番組

県内各市町村観光担当課や観光協会等が持ち回りで、ラジオ番組に出演、観光素材、観光物産展などの宣伝PRを県内リスナー向けに実施する。

・放送回数：年間52回

② NACK5コーナー番組

県内各市町村観光担当課や観光協会等が持ち回りで、ラジオ番組に出演、冬の観光素材、観光物産展などの宣伝PRを県外リスナー向けに実施する。

・放送回数：年間8回（予定）

2 観光誘客事業

（1）観光物産展等開催

1) 観光展・観光キャラバン事業

1, 812千円（29年度 2,455千円）（県・市町村負担金事業）

① 関東エリア観光キャラバン（中小旅行者観光キャラバン）

圏央道の延伸開通などを契機に関東近県からの誘客を図るため、商品造成者（中小旅行者）を対象とした市町村等会員の参加型観光セールスキャラバンを実施する。

・神奈川県・埼玉県・静岡県にて実施

② 高速道路観光展

車両利用の観光客を対象とした情報を発信するため、四季の行楽シーズンに合わせ、会員各市町村（観光協会等）等と連携し、高速道SA等における観光展を開催する。

・開催時期：4月・10月・1月

・開催場所：上里SA（下り線）3回

③ 日本観光振興協会関東支部観光展参加

日本観光振興協会等支部と連携し、横浜・仙台（予定）の各駅構内で開催される観光展に参加し、本県への誘客に繋げる。

また、関東ブロック観光連盟協議会出展の海外観光展（台湾・台北：ITF2018台北）へ参加しPRを実施する。

- ・横浜駅構内コンコース：平成30年9月
- ・仙台駅構内コンコース：平成30年12月（予定）
- ・台湾・台北世界貿易センター（予定）：平成30年11月（予定）

（２）旅行エージェント(ツアー造成促進)及びマスコミ招聘・対策事業

１）エージェント招聘事業

500千円（29年度 950千円）（県・市町村負担金事業）

旅行業者及びマスコミ業者を本県に招聘し現地視察を実施することにより、本県への理解度を深めてもらうとともに、本県の魅力をPRすることにより、旅行商品造成や自主出稿を促す。

２）エージェントキャラバン事業 201千円（新規）（県・市町村負担金事業）

県・市町村・観光協会の観光担当者が連携し、旅行会社（商品造成箇所）や旅行雑誌社を訪問し、県内の旬な観光素材を中心にPR活動を行うことにより、旅行商品への造成、旅行雑誌への出稿を依頼する。

- ・実施時期：平成30年4月（予定）

３）観光素材宣伝事業 544千円（新規）（県・市町村負担金事業）

県内の観光素材を半期毎に取りまとめ観光素材集を制作する。制作した観光素材集は、観光素材の情報提供や素材の写真データをフリーに使用することができようにし、旅行会社・旅行雑誌社に商品造成・観光特集等の観光素材としても提供する。

４）着地型観光ルート提供事業

400千円（29年度 400千円）（県・市町村負担金事業）

主に中小旅行業者に対し、県内の磨き上げられた観光素材、隠れた観光素材を盛り込んだ県内を周遊する具体的で現実的な観光コース企画集を提供および提案することにより、県内各地域に向けた広域的な誘客を図る。

５）地域の魅力発信事業 300千円（29年度 400千円）（県・市町村負担金事業）

首都圏マスコミ等に向け、取材、企画を希望する地域の観光資源を発信するとともに、群馬の弱点と言われる「物産（食・土産品）」の魅力を記者、編集者等に発信、再認識してもらう。また、テーマ別開催により、滞在及び面的な周遊の魅力（観光・泊・食など）についても積極的に提案を行う。

（３）山と歴史のぐんま観光事業

18,744千円（29年度 20,235千円）（県受託事業）

ぐんま県境稜線トレイルや世界遺産・東国文化などの群馬のブランド確立にもつながる優良な観光資源と周辺の観光資源を併せて情報発信し、宿泊と周遊の促進による観光消費額の増加とイメージ定着による他県との差別化（ブランド化）を図る。

（４）群馬のリピーター獲得事業（教育旅行の推進）

2, 140千円（新規）（県受託事業）

県外（主に首都圏）や海外の児童・生徒をターゲットに、本県の魅力を体感してもらい、将来のリピーターになってもらうためのニーズ調査やホームページの制作、海外向け教育旅行推進のための多言語ガイドブックを制作する。

（5）ぐんま観光おもてなし事業

22, 230千円（平成29年度22,230千円）（県受託事業）

「ぐんま観光おもてなし隊」を結成し、県内外イベントにおける観光PRを実施し、本県の観光振興及びイメージアップを図る。

① ぐんま観光おもてなし隊の構成

ぐんまコンシェルジュ（観光案内、制服着用）、ぐんまちゃんの着ぐるみ
ぐんま工女隊（工女衣装着用）、その他スタッフ（ユニホーム着用）

② おもてなし活動

イベント等でのPR活動、ブログによる観光イベント・物産情報の発信

（6）負担金・拠出金

1）ググっとぐんま観光宣伝推進協議会負担金

16, 300千円（29年度 16,300千円）

群馬県、市町村、観光関連団体等が協力し、全国から本県への誘客を図ることを目的としたググっとぐんま観光宣伝推進協議会事業へ負担金を拠出する。

① 広報宣伝

キャンペーンガイドブック、ポスター、公式サイト、ノベルティの作成

② 誘客対策

キャラバン、観光展、二次交通パンフレット、地域部会助成

③ 受入体制整備

おもてなし講習会、地域部会との連携

（7）群馬県スキー場経営者協会事務局

2, 430千円（29年度 2,430千円）（民間受託事業）

本県冬季観光産業のメインである県内スキー場の活性化と誘客等を効率的・広域的に実施するため、群馬県スキー場経営者協会の事務局として、様々な事業の展開を図る。

（8）海外誘客対策事業

1）海外誘客支援

1, 650千円（29年度 2,600千円）（県・市町村負担金事業）

群馬県と連携し、インバウンドに取り組む県内観光機関等に対し、海外からの訪日個人客や団体・教育旅行・AGT・マスコミ等の受入支援及び体制整備を行い、群馬県の経済活性化に資するとともに、群馬県への訪日客の増加を図る。

2）外国人観光客受入環境整備

5, 500千円（29年度 6,360千円）（県補助事業）

外国人観光客に対するニーズ調査を実施し、調査結果と有識者の意見を反映した

モデルプランを作成し、海外からの誘客を図る。

3) 海外プロモーション 9,052千円(29年度 8,841千円) (県補助事業)

海外からの更なる誘客を促進するため、現地へのセールスプロモーション、教育旅行関係者招請事業や現地説明会参加などの誘客事業を実施する。

4) インバウンド人材配置 5,288千円(29年度 5,197千円) (県補助事業)

台湾を中心とする東アジアからの誘客を進めるため、プロモーション事業や受入環境整備事業を実施する人材を配置する。

3 観光物産事業育成支援事業

(1) 観光功労者表彰及び観光振興助成事業

260千円(29年度 260千円) (県・市町村負担金事業)

1) 観光関係者功労者表彰

観光事業の発展に資することを目的に観光事業に功績のあった者を表彰する。

2) 観光関係の行事等の後援及び賞の交付

地域の観光振興に有効と思われる行事を後援するとともに、それらの行事を実施する関係機関が行う表彰に対し賞状等を交付し支援する。

(2) 物産振興助成事業 295千円(29年度 500千円) (自主事業)

- ① 各地域物産振興協会が中心となって開催する地域の物産展、新しい特産品掘り起こしのための展示即売会等の物産振興事業に対して、予算の範囲内で助成を行う。
- ② 各地域物産振興協会他、関係機関の主催する展示即売会や物産展等の物産振興事業に対して、後援や協力を行う。

(3) 地域づくり・人材育成事業

1) 魅力ある観光地域づくり推進事業(群馬県DMO機能強化)

37,665千円(29年度 37,849千円) (県受託・県補助事業)

平成29年1月当協会は、観光庁が進める日本版DMO候補法人に登録され、平成30年1月に日本版DMOへの登録を申請した。はばたけ群馬観光博覧会で培った着地型旅行商品のノウハウを生かし、県内各地域の交流人口を増加させ、地域の雇用創出、地域経済の発展に寄与するため、次の事業を実施する。

① 観光調査分析

データに基づいた観光施策の展開、効果検証を行うため、ビッグデータの収集・分析、観光客のニーズ把握等のマーケティング調査及び市町村ごとの観光における強み・弱みを分析する。

② 中核人材育成

地域の観光地域づくりをリードする中核人材の育成を行うため、「ぐんま観光リーダー塾」を開催する。県外のIターン、Uターンを希望する人材にも訴求するプログラムを構築する。

③ 地域DMO推進

市町村や観光協会、地域DMO等のニーズに基づき、県域DMOがコアメンバーを活用の上、地域と連携し、課題解決に取り組む。

④ 機運醸成

県民を対象に、「観光地域づくり」への参画を促すためのセミナーを開催する。

⑤ テーマ別ワーキンググループ開催

県の重要施策と県域DMOの課題等について、各分野の専門家、コアメンバーで構成するワーキンググループにより、課題解決に取り組む。

⑥ 専門人材配置

「観光地経営」の視点に立った取り組みを推進するため、マーケティング及びプロモーションの専門人材を配置する。

2) 地域物産振興育成事業 108千円(29年度165千円) (自主事業)

- ① 各地域物産振興協会等との連携を図るため、全体会議を実施し物産関連情報の収集及び情報提供を積極的に推進する。
- ② 会員名簿の作成を通じて、物産振興協会が整備されていない地域における物産業者の事業参画を推進するため、県・市町村と協力し、各地域物産振興協会の広域化推進など育成強化に努める。
- ③ 各地域に出向いて情報交換および出張セミナーを実施する。

4 群馬県産品普及宣伝事業

(1) 県内物産カタログによる紹介宣伝事業

2,450千円(29年度 2,900千円) (自主事業)

県内物産の周知・宣伝等を目的に名産品カタログ「ぐんまの逸品(2018~2019版)」を作成し、観光展・物産展等において県内外の多くの方に幅広く配布する。これにより、本県物産の情報発信に寄与するとともに、市場動向等の情報提供、専門家によるノウハウの教授等を通じて県内物産業者の育成を図る。

(2) 品質及びデザインの向上促進及び指導に関する事業

1) 群馬県優良県産品推奨に対する協力

809千円(29年度 623千円) (自主事業)

県が「群馬県優良県産品推奨制度」により指定した推奨品の普及及び販売促進に資するため、推奨シールの普及を促進する。

(3) 物産展等開催事業 収入9,133千円 支出3,959千円

(29年度 収入6,500千円 支出1,920千円) (自主事業)

県内外の百貨店・商業施設等において、本県物産の紹介宣伝及び県内物産業者の販売ノウハウの育成を図るため、県及び関係団体と連携し、各種観光物産展等を開催する。

特に、首都圏での物産宣伝による認知度アップを図るため、首都圏近郊における観光物産展開催を積極的に開催するとともに、会場等の新規開拓にも取り組む。

- ・開催回数 年間25回程度を予定。

(4) ぐんまの通販サイト「CASAぐんま」の運営

1,406千円(29年度 4,987千円) (自主事業)

県内外の多くの方に本県物産の魅力を発信するため、本県物産の通販システム「CASA

ぐんま」を通じて、インターネット販売に参加したい意欲のある県内業者を対象に、商品のブラッシュアップ、販路開拓等に繋がるよう支援を行う。

また、県税務課の協力を得てこの「CASAぐんま」の商品を「ふるさと納税返礼品」に活用する。

(5) 近代こけしコンクール事業 740千円(29年度 760千円)(その他の負担金事業)

本県「近代こけし」産業の発展に寄与することを目的に「近代こけし」を一堂に集め県が開催するコンクールを支援する。

(6) ぐんまふるさと納税お礼品の提供事業

1,470千円(29年度 1,345千円)(県受託事業)

群馬県へのふるさと納税のお礼品としてCASAぐんまより選定していただき、お礼品を調達・発送する。

(7) 地域の食と土産の魅力向上事業

2,328千円(29年度 10,000千円)(県受託事業)

「ぐんまのおみやげ総選挙」上位30品目を中心に、商品それぞれの魅力を掘り下げて紹介するパンフレットを作成する他、県内外物産展に出展し、PRおよび販売する。また、食品商社等へ売り込みを行い、新たな販路拡大を図る。

II 国際化推進事業(公益目的事業)

1 多文化共生支援事業 8,951千円(29年度 9,097千円)

在住外国人に対し、県内全域を対象とした情報の収集・発信と多言語コミュニケーション支援、日本語学習支援を軸として、多文化共生社会へ向けた地域づくりを目指す。

(1) 「多言語インフォメーションセンター」の運営(県補助事業)

7,092千円(29年度 7,340千円)

総合相談機能を有する多言語インフォメーションセンターにおいて、4カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語)で、多文化共生と国際交流・協力、国際観光の推進に資する通訳、翻訳、相談を実施する。

(2) 外国人のための法律相談 440千円(29年度 431千円)(自主事業)

在住外国人からの各種相談に対し、5カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語)による「弁護士、行政書士、社会保険労務士による無料相談会」を市町村と連携して実施する。

(3) 外国人相談実務者のための研修 60千円(29年度 60千円)(自主事業)

外国人相談業務に携わる実務者を対象に、非常時の対応や相談対応における基礎や最

新の制度改正等についてのスキルアップを図るとともに、他の相談機関との連携や相談員同士のネットワーク構築等を目的とした研修を実施する。

開催回数：1回

(4) 多言語情報発信事業 1,209千円(29年度 1,116千円)

1) 多言語WEBサイト「All Around Gunma」の運営

432千円(28年度 432千円) (自主事業)

外国人を対象とした県内の生活・観光情報や、県民へ向けた国際交流・協力に関する情報を収集し提供する多言語サイトを5カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、日本語)で運営する。

2) 群馬県観光物産国際協会多言語facebookサイトの運営

0千円(29年度 0千円) (自主事業)

外国人を対象とした県内の生活・観光情報や、県民へ向けた国際交流・協力に関する情報を収集し提供する多言語facebookサイトを運営する。

3) 多言語メールマガジン発信 312千円(29年度 300千円) (自主事業)

多言語サイトと連動し、県内の生活・観光情報等を4カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語)で発信する多言語メールマガジンを発信する。

発行回数：毎月1回 年12回

発信数：ポルトガル語約200名・スペイン語約130名・英語約490名・中国語約130名

4) 外国語情報誌「THE GUNMA GUIDE」発行

465千円(29年度 384千円) (自主事業)

在住外国人を対象に県内の生活・観光情報、各国際交流団体等の情報を掲載した多言語情報誌を4カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語繁体字と簡体字)で発行する。

発行回数：隔月1回 年6回

発行部数：各言語(5種類)500部

(5) 日本語学習支援事業 150千円(29年度 150千円) (自主事業)

在住外国人の日本語学習を支援するボランティアの養成を目的とし、日本語学習支援のための基礎的な知識を習得する講座を開催する。

開催回数：全4回

2 国際交流・協力推進事業 508千円(29年度 669千円)

人材育成とコーディネート機能を軸として、県内の国際交流・協力活動の活性化を図るとともに、県民が参画する国際交流・協力活動の促進へ向けた環境整備を行う。

(1) 国際交流ボランティア人材バンクの運営/育成事業

125千円(29年度 233千円) (自主事業)

6種類のボランティア(通訳・翻訳/ホームステイ/日本文化紹介/海外事情紹介/日本語支援/イベント協力)を登録し、県や市町村、公共団体の依頼に応じて紹介と派遣を行うとともに、訪日外国人インバンドに向けたボランティアの育成・ネットワーク

構築を目的とした研修会を実施する。

(2) 国際交流団体等連携事業 171千円 (29年度 171千円)

1) 市町村国際交流協会等連絡会議 41千円 (29年度 41千円) (自主事業)

県内各市町村国際交流協会等とのネットワーク構築強化を図るとともに、相互連携を深め、共通する課題に対する意見交換や情報共有を行う連絡会議を開催する。

2) 地域国際化協会連絡協議会事業 130千円 (29年度 130円) (自主事業)

(一財)自治体国際化協会と各都道府県の国際交流協会が構成する協議会に参加し、事業の連携や意見交換を図る。

(3) 国際交流・協力活動推進事業 150千円 (29年度 203千円)

1) 市町村国際交流まつり出展 150千円 (29年度 203千円) (自主事業)

国際交流・協力団体活動の周知と活動活性化を図るとともに、県内市町村国際交流協会等や国際協力機構(JICA群馬デスク)と連携し、県民へ向けた意識啓発と参加促進を図るため、市町村が開催する国際交流まつり等に出展する。

(4) 県内国際交流・協力団体活動調査及び情報提供事業

12千円 (29年度 12千円) (自主事業)

県内の各種国際交流・協力団体の構成、活動状況等の調査を行い、県民等からの問い合わせに対し情報提供を行う。

調査回数：1回

(5) 国際理解推進事業 50千円 (29年度 50千円) (自主事業)

国際理解教育・国際協力に関する参加型セミナー等をJICAと連携し開催することにより、世界や地域の課題に目を向け、国際的な市民活動の活性化を図る。

開催内容：セミナー1回

3 外国人未払医療費対策事業 4,906千円 (29年度 5,002千円) (県補助事業)

外国人を診療したが、受け取るべき医療費を回収できないでいる医療機関に、その医療費の一部を補填し、医療機関の負担軽減と社会の安定に資する。

4 受託事業 1,763千円 (29年度 1,762千円)

(1) 地域国際化推進サポート事業

1,263千円 (29年度 1,262千円) (民間受託事業)

(一財)自治体国際化協会群馬県支部の活動を円滑にし、一層の地域国際化推進を図るため、翻訳・通訳・情報収集・発信等の業務を受託する。

(2) 群馬県日本中国友好協会業務受託事業

500千円 (29年度 500千円) (民間受託事業)

日本と中国両国間の民間レベル交流が重要視される中、群馬県日本中国友好協会の活動を側面的に協力するとともに、群馬県上海事務所との連携や同事務所協力の下、

友好交流覚書を締結した上海市人民対外友好協会との一層の交流推進を図るため、群馬県日本中国友好協会から翻訳・通訳・情報収集・発信等の業務を受託する。

Ⅲ 旅行業事業（収益事業） 5,690千円（29年度 6,738千円）

宿泊客を含めた誘客を促進するため、当協会本部で宿泊手配等を行う。
旅行業関連の事業にも積極的に取り組み、主催旅行の実施、手配旅行の請負等を行う。

Ⅳ 観光施設事業（収益事業） 7,351千円（29年度 7,699千円）

県立赤城公園内、榛名公園内において観光施設（厚生文教団地等、オートキャンプ場）の管理運営を行う。

V 財団の運営

1 理事会、評議員会の開催

事業計画、予算、その他の重要事項等について審議を行うため、理事会、評議員会を6月、3月に行う。また、必要に応じ臨時会を開催する。